



平成30年12月期 第2四半期決算短信 [日本基準] (非連結)

平成30年8月10日

上場会社名 **大和重工株式会社** 上場取引所 東証二部
 コード番号 5610 URL <http://www.daiwaijuko.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田中 保昭
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員総務部長兼経理部長 (氏名) 西田 伸之 TEL (082) 814-2101
 四半期報告書提出予定日 平成30年8月10日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年12月期第2四半期の業績 (平成30年1月1日～平成30年6月30日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|--------------|-------|-----|------|---|------|--------|--------|--------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 30年12月期第2四半期 | 2,062 | 5.0 | △ 47 | — | 6 | △ 79.1 | 1 | △ 90.7 |
| 29年12月期第2四半期 | 1,964 | 2.4 | △ 18 | — | 33 | △ 24.6 | 20 | △ 63.8 |

| | 1株当たり 四半期純利益 | | 潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益 | |
|--------------|-----------------|---|------------------------|---|
| | 円 | 銭 | 円 | 銭 |
| 30年12月期第2四半期 | 1.43 | — | — | — |
| 29年12月期第2四半期 | 15.37 | — | — | — |

(注) 平成30年7月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前事業年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 財政状態

| | 総資産 | | 純資産 | | 自己資本比率 | | 1株当たり純資産 | |
|--------------|-------|---|-------|---|--------|----------|----------|--|
| | 百万円 | 円 | 百万円 | 円 | % | 円 | 銭 | |
| 30年12月期第2四半期 | 6,509 | — | 3,262 | — | 50.1 | 2,408.10 | — | |
| 29年12月期 | 6,771 | — | 3,414 | — | 50.4 | 2,520.71 | — | |

(参考) 自己資本 30年12月期第2四半期 3,262百万円 29年12月期 3,414百万円

(注) 当社は平成30年7月1日を効力発生日として普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。これに伴い前事業年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり純資産を算定しております。

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | | |
|-------------|--------|--------|--------|------|----|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 | |
| | 円 | 銭 | 円 | 銭 | 円 | 銭 |
| 29年12月期 | — | 0.00 | — | 0.00 | — | 0.00 |
| 30年12月期 | — | 0.00 | — | — | — | — |
| 30年12月期(予想) | — | — | — | — | — | — |

(注1) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

(注2) 当社は、定款において中間配当及び期末配当の配当基準日を定めておりますが、現時点では期末配当の当該基準日における配当予想額は未定であります。

3. 平成30年12月期の業績予想 (平成30年1月1日～平成30年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 | |
|-----|-------|-----|-------|---|------|---------|-------|---------|----------------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 | 銭 |
| 通 期 | 4,200 | 1.6 | △ 100 | — | 0 | △ 100.0 | 0 | △ 100.0 | 0.00 | — |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|-----------|------------|-----------|------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 30年12月期2Q | 1,358,000株 | 29年12月期 | 1,358,000株 |
| ② 期末自己株式数 | 30年12月期2Q | 3,329株 | 29年12月期 | 3,304株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） | 30年12月期2Q | 1,354,689株 | 29年12月期2Q | 1,354,787株 |

（注）当社は、平成30年7月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。期末発行済株式数、期末自己株式数および期中平均株式数につきましては、前事業年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、実際の実績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は【添付資料】P.3「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|--------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 2 |
| (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期損益計算書 | 6 |
| (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 | 7 |
| (4) 四半期財務諸表に関する注記事項 | 8 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 8 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 8 |
| (四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) | 8 |
| (会計方針の変更) | 8 |
| (会計上の見積りの変更) | 8 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、企業収益の回復や雇用・所得環境の改善、設備投資の持ち直しにより、緩やかな回復基調で推移いたしました。一方、世界経済では、米国の保護主義的な通商政策が国際的な貿易摩擦問題へと発展する懸念などにより、景気の先行きは不透明な状況となっております。

このような経済環境のもと、当社は大型鋳造技術を活かした新たな分野への営業展開や新設ホテルを中心とした宿泊施設需要を取り込み、「鋳物ホーロー浴槽」の営業を強化するなど、受注・売上の拡大に取り組んでまいりました。

この結果、当第2四半期累計期間の売上高は20億62百万円（前年同期比5.0%増）、営業損失は47百万円（前年同期は営業損失18百万円）、経常利益は6百万円（前年同期比79.1%減）、四半期純利益は1百万円（前年同期比90.7%減）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

〈産業機械関連機器〉

日本工作機械工業会による工作機械主要統計では、工作機械の受注総額は平成28年12月から19カ月連続で前年同月を上回っており、平成30年1月から平成30年6月の受注累計は、前年同期に比べ26.1%と大幅な増加となっております。

大型鋳物を得意とする当社の工作機械鋳物部品の同期間における受注高は前年同期比24.7%増となっております。ディーゼルエンジン部品の分野は、価格面においては引き続き厳しい状況が続いているものの、需要は回復基調にあり、当分野の受注高は前年同期比28.8%増となりました。

その結果、当セグメントの売上高は、前年同期比25.5%増の11億46百万円、受注高は、前年同期比18.1%増の13億14百万円となりました。

〈住宅関連機器〉

住宅関連機器の分野は、一般住宅向け「鋳物ホーロー浴槽」の販売は低迷しておりますが、ホテル向けの「鋳物ホーロー浴槽」は新築や改装で引き合いが増加してきており、今後の売上拡大が図れるものと見込んでおります。

その結果、当セグメントの売上高は、前年同期比12.8%減の9億16百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債、純資産の状況

(資産)

当第2四半期会計期間末の資産合計は、65億9百万円となり、前事業年度末に比べ2億61百万円減少しました。この主な要因は、受取手形及び売掛金は1億16百万円増加したものの、現金及び預金が1億85百万円減少、投資有価証券が2億19百万円減少したことによるものです。

(負債)

当第2四半期会計期間末の負債合計は、32億47百万円となり、前事業年度末に比べ1億9百万円減少いたしました。この主な要因は、長期借入金39百万円減少、繰延税金負債が73百万円減少したことによるものです。

(純資産)

当第2四半期会計期間末の純資産合計は、32億62百万円となり、前事業年度末に比べ1億52百万円減少いたしました。この主な要因は、その他有価証券評価差額金が1億54百万円減少したことによるものです。

②キャッシュ・フローの状況について

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前事業年度末に比べ1億85百万円減少して、5億93百万円となりました。

当第2四半期累計期間におけるキャッシュ・フローの状況は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は、1億35百万円(前年同四半期は3億69百万円の収入)となりました。これは主に売上債権が1億61百万円増加したことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、1百万円(前年同四半期は1億83百万円の使用)となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出36百万円、投資不動産の賃貸による収入が48百万円あったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、48百万円(前年同四半期は65百万円の収入)となりました。これは主に長期借入金の返済による支出が48百万円あったことによるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年5月15日に公表いたしました平成30年12月期の業績予想につきましては、平成30年8月10日に「第2四半期の業績予想値と決算値との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」を公表しております。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

| | 前事業年度 (平成29年12月31日) | 当第2四半期会計期間 (平成30年6月30日) |
|------------|------------------------|----------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 1,198,344 | 1,013,338 |
| 受取手形及び売掛金 | 1,126,794 | 1,243,656 |
| 電子記録債権 | 118,278 | 162,839 |
| 商品及び製品 | 483,883 | 507,619 |
| 仕掛品 | 53,248 | 72,762 |
| 原材料及び貯蔵品 | 213,076 | 214,120 |
| 前払費用 | 486 | 832 |
| 繰延税金資産 | 6,890 | 8,623 |
| 未収入金 | 13,747 | 35 |
| その他 | 656 | 4,987 |
| 流動資産合計 | 3,215,406 | 3,228,815 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物(純額) | 574,792 | 559,996 |
| 機械及び装置(純額) | 396,844 | 351,792 |
| 土地 | 345,427 | 345,427 |
| その他(純額) | 113,803 | 116,827 |
| 有形固定資産合計 | 1,430,868 | 1,374,044 |
| 無形固定資産 | 5,706 | 8,219 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 1,894,204 | 1,674,783 |
| 投資不動産(純額) | 155,049 | 152,852 |
| その他 | 82,621 | 83,355 |
| 貸倒引当金 | △5,150 | △5,150 |
| 投資損失引当金 | △7,000 | △7,000 |
| 投資その他の資産合計 | 2,119,724 | 1,898,841 |
| 固定資産合計 | 3,556,299 | 3,281,105 |
| 資産合計 | 6,771,705 | 6,509,920 |

(単位: 千円)

| | 前事業年度 (平成29年12月31日) | 当第2四半期会計期間 (平成30年6月30日) |
|--------------|------------------------|----------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 802,202 | 778,778 |
| 短期借入金 | 1,391,196 | 1,382,916 |
| 未払法人税等 | 2,563 | 17,208 |
| 賞与引当金 | 15,000 | 16,000 |
| その他 | 204,946 | 203,743 |
| 流動負債合計 | 2,415,907 | 2,398,646 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 209,592 | 169,674 |
| 繰延税金負債 | 186,866 | 113,695 |
| 退職給付引当金 | 408,834 | 429,093 |
| 役員退職慰労引当金 | 61,512 | 62,287 |
| 資産除去債務 | 18,078 | 18,227 |
| 長期預り敷金 | 56,115 | 56,115 |
| 固定負債合計 | 940,999 | 849,093 |
| 負債合計 | 3,356,907 | 3,247,739 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 651,000 | 651,000 |
| 資本剰余金 | 154,373 | 154,373 |
| 利益剰余金 | 1,838,241 | 1,840,179 |
| 自己株式 | △5,740 | △5,777 |
| 株主資本合計 | 2,637,873 | 2,639,775 |
| 評価・換算差額等 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 776,924 | 622,406 |
| 評価・換算差額等合計 | 776,924 | 622,406 |
| 純資産合計 | 3,414,798 | 3,262,181 |
| 負債純資産合計 | 6,771,705 | 6,509,920 |

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位:千円)

| | 前第2四半期累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日) | 当第2四半期累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年6月30日) |
|--------------|---|---|
| 売上高 | 1,964,449 | 2,062,602 |
| 売上原価 | 1,601,096 | 1,702,036 |
| 売上総利益 | 363,353 | 360,566 |
| 販売費及び一般管理費 | 382,138 | 407,611 |
| 営業損失(△) | △18,785 | △47,045 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 49 | 22 |
| 受取配当金 | 14,545 | 15,656 |
| 受取地代家賃 | 50,656 | 50,627 |
| その他 | 2,650 | 2,952 |
| 営業外収益合計 | 67,900 | 69,257 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 6,263 | 5,915 |
| 不動産賃貸関係費 | 8,941 | 8,846 |
| その他 | 816 | 539 |
| 営業外費用合計 | 16,021 | 15,301 |
| 経常利益 | 33,092 | 6,911 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産処分損 | 150 | 39 |
| 特別損失合計 | 150 | 39 |
| 税引前四半期純利益 | 32,941 | 6,871 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 11,561 | 12,672 |
| 法人税等調整額 | 554 | △7,739 |
| 法人税等合計 | 12,115 | 4,933 |
| 四半期純利益 | 20,826 | 1,938 |

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

| | 前第2四半期累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日) | 当第2四半期累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年6月30日) |
|-------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税引前四半期純利益 | 32,941 | 6,871 |
| 減価償却費 | 93,034 | 77,666 |
| 賞与引当金の増減額(△は減少) | △3,000 | 1,000 |
| 退職給付引当金の増減額(△は減少) | 6,866 | 20,259 |
| 役員退職慰労引当金の増減額(△は減少) | 2,375 | 775 |
| 受取利息及び受取配当金 | △14,594 | △15,678 |
| 支払利息 | 6,263 | 5,915 |
| 有形固定資産処分損益(△は益) | 150 | 39 |
| 投資不動産賃貸収入 | △49,251 | △48,981 |
| 投資不動産賃貸費用 | 8,915 | 8,846 |
| 売上債権の増減額(△は増加) | 254,785 | △161,422 |
| たな卸資産の増減額(△は増加) | △22,865 | △44,293 |
| 仕入債務の増減額(△は減少) | 25,974 | △23,423 |
| 未払消費税等の増減額(△は減少) | △11,920 | 3,015 |
| その他 | 55,591 | 13,613 |
| 小計 | 385,266 | △155,798 |
| 利息及び配当金の受取額 | 14,559 | 15,662 |
| 利息の支払額 | △6,456 | △6,264 |
| 法人税等の還付額 | — | 13,734 |
| 法人税等の支払額 | △23,394 | △2,401 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 369,974 | △135,066 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 定期預金の預入による支出 | △120,000 | △120,000 |
| 定期預金の払戻による収入 | 120,000 | 120,000 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △2,180 | △2,263 |
| 役員保険積立金の積立による支出 | △1,588 | △727 |
| 有形固定資産の取得による支出 | △220,630 | △36,939 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △1,948 | △3,770 |
| 資産除去債務の履行による支出 | — | △69 |
| 投資不動産の賃貸による収入 | 49,251 | 48,981 |
| 投資不動産の賃貸による支出 | △6,650 | △6,623 |
| その他 | 26 | △7 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △183,718 | △1,418 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 長期借入れによる収入 | 150,000 | — |
| 長期借入金の返済による支出 | △57,711 | △48,198 |
| 配当金の支払額 | △26,737 | △286 |
| その他 | △193 | △36 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 65,358 | △48,521 |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | 251,613 | △185,006 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 634,341 | 778,344 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 885,954 | 593,338 |

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(追加情報)

該当事項はありません。